

## 第三分科会「教育現場でのノートテイク」

### 高等教育機関でのノートテイク養成と連携について

広島大学総合科学部ボランティア活動室 田中芳則

#### 1 はじめに

高等教育機関でのノートテイクは通常の講演会での要約筆記とは違って、高度な専門性と、情報保障自体がその支援される方の成績に関わるため、さらに注意や事前準備が必要になる。

高等教育機関で要望するノートテイクは、厚生労働省準拠の要約筆記奉仕員養成講座の基礎課程および応用課程を修了した人で、十分な経験を積み、専門性を持つ人が適任と考える。しかし、高等教育の場での養成では対象が学生であり、時間的および予算的な制約のために、それがかなわないのが実情である。また事前情報を入手するため、高等教育機関とノートテイクとの連携がとれているかどうかはノートテイクの質を左右する。

そこで今回調査した5大学の現状を紹介し、ノートテイクの養成と連携について提案する。

#### 2 ノートテイクの養成

広島大学の場合、学期期間中は学生によるノートテイクを行っている。この学生は教養的教育科目「障害学生支援ボランティア実習 A,B（各半期ごと、1単位）」を履修し、実習の中でノートテイク活動を行い、その結果として、単位習得を行うことができる。すでに単位取得済みの学生は、単位不要で履修登録している。また学期期間外の夏期および冬期の休み期間中の集中講義時には、外部団体の要約筆記サークルにノートテイクを依頼し、講義の情報保障を行っている。なお、ノートテイクの養成は、4月と10月の半期ごとに行う。

ここで、2003年前期の広島大学および他4大学の状況を示す。ただしパソコンノートテイクの講習会はわかる範囲で調査した。2003年前期の養成状況を表1に示す。

表1 大学でのノートテイクー養成一覽(2003 年前期)

大学名	開催時期	主催者	養成講座(手書き、PC)	講師
京都精華大学	4/7,8	学生課	手書き講習会	?
	5/8,15,22,29	学生課	パソコン(講義形式)	?
	6月隔週木曜日	学生課	パソコン(実践練習)	学生
同志社大学	4/2,3,4	学生課	手書き基礎講習会	?
	6月	学生課	手書きレベルアップ講習会	?
長野大学	6/19,26	学生課	手書き	教官(非常勤)
日本福祉大学	4/17	障害学生支援センター	手書き	愛知県要約 筆記者連絡会
広島大学	4/7,8	ボランティア活動室	手書き中級講習会	東広島市サークル 「花たば」
	4/10,11,14	ボランティア活動室	手書き初級講習会	教官

表1を見てわかるように、講習会の開催で、どこが養成に携わるか、主催、講師がそれぞれ大学間で異なっている。主催は、大学の学生課、および大学の専門部署が行っている。

講習会で外部講師を招聘する場合には予算が発生し、一方、学内の教官や学生が講師となる場合には、予算はかからない。また誰が主催して、講習会を開催しているかが重要である。学生だけならば、単なるサークル活動とみなされるが、大学学生課や専門部署が主催しているのであれば、大学で正式に認められて講習会を開催しているので、そのための予算化が必要で、1回でも開催されれば実績として認められやすく、その後の開催もスムーズに進むであろう。

### 3 養成方法の提案

ノートテイクの知識・技能を身に付けるため、初めは外部講師を招聘して、講習会を開催すべきであるが、その後は養成された学生が講師となって講習会を行うのがよい。

その理由として、(1)各学部学科等での専門性や語句への理解・知識があ

ること、(2)年齢が同じ、あるいは近いので互いに学びあう姿勢が効果的に働くこと、(3)同じ学生として授業の情報を共有しやすいこと、があげられる。一方、問題点として、(a)学生が講師となるために指導者としてのスキルアップが難しい、(b)養成後のノートテイカーのケア(ノートテイクに関する助言・相談)を誰が行うか、があげられる。

初めから指導者へのスキルアップ体制の確立や養成された学生のケア対応を念頭において、ノートテイカーを養成する必要がある。なおノートテイカーのケアは要約筆記の知識・経験をもつ教官が適すると考える。

#### 4 高等教育機関とノートテイカーとの連携

ノートテイカーは、各学部学科等の授業担当教官との連携が大切で、早い時期から行うことが必要である。特に教官との協力関係の構築が必要であり、事前の授業に関する協議事項が大切になる。例えば、①教官の教授法(教え方のスタイル)は変えない、変えることはできないが配慮方法を検討する、②資料・レジュメの拡大コピーをお願いする。拡大コピーは視覚障害学生だけの配慮事項と思われがちであるが、ノートテイカーが直接、余白に書き込むのに有効である、③ビデオ字幕挿入等の教材の工夫をお願いする、等がある。その他、シラバス(授業科目情報)から得られる情報も有効である。特に聴覚障害学生には、教授法や視聴覚教材の有無の情報が重要である。表2に各大学でのシラバス情報を示し、図1に広島大学のシラバス例を示す。

##### (例)広島大学の場合

受験前相談(1月末まで)、合格後相談(3月)、授業前相談(前期 3, 4 月後期 9, 10 月)がある。

これにより聴覚障害学生のニーズを把握し、本人の望む情報保障になるべく近づけていく協議を行っている。現在、シラバスには受講希望科目の視聴覚教材の利用の有無が掲載されており、それを元に視聴覚教材を用いる教官への問い合わせおよび交渉(ビデオの文字おこし・字幕挿入、解説プリントの依頼)を行っている。

表2 シラバス情報

大学名	視聴覚教材利用の有無
京都精華大学	なし
同志社大学	なし
長野大学	不明(学外非公開)
日本福祉大学	不明(学外非公開)
広島大学	あり

## 5 おわりに

高等教育機関でのノートテイカーの養成と連携について提案する。

- (1) 初めは外部講師の招聘で講習会を開催し、ノートテイカーを養成する。
- (2) 講習会后、ノートテイクを何学期か経験した学生が講師となってみる。
- (3) ノートテイカーのケアを念頭にいれておく。
- (4) 学生は現場に出て情報保障および授業担当教官との連携を実践で学ぶ。
- (5) 高等教育機関は科目に関する授業情報をできるだけ公開し提供する。

## 参考文献

- a) 広島大学障害学生就学問題検討部会「教職員のための障害学生就学支援の手引き」～授業における情報保障を中心に～(2002)
- b) 同志社大学「障がい学生支援制度 スタッフ活動マニュアル」(2003)
- c) 長野大学「学内広報誌 りんどう」第2号(2003)

講義コード	5G313001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	人間とスポーツ [PGB,PF4]		
授業科目名 (フリガナ)	ニンゲントスポーツ		
英文授業科目名	Humanity and Sport		
担当教官名	■■■■■		
研究室の場所	総合科学部 ■■■■	開講部局	教養的教育
内線番号	■■■■	開講キャンパス	東広島
E-mail アドレス	■■■■@hiroshima-u.ac.jp		
授業の形式	講義	単位	2
開設期	1年次生 後期(2セメスター)	講義室	総K211
曜日時限	火 4 時限, 3 時限		
対象学生	原則として 1 年生		
キーワード	ナショナリズム, 近代化 国際化 友好 対立		
教職専門科目		教科専門科目	
パッケージの中での この授業の位置	人間とスポーツでは「スポーツの歴史」を通して、「異文化の交流と共生」について考える。世界共通のルールの下で実施されるスポーツ大会では、国や民族を越えた「友好」が生まれる一方で、政治的あるいは社会的な理由から「対立」も生まれる。この講義では、スポーツの歴史を通して、こうした「友好」と「対立」を考える。		
授業の目標等	フランスのクーベルタンが提唱した「近代オリンピック」は、1896年にギリシャのアテネで第一回大会が開催された。この授業では、近代オリンピックの歴史を通じて、単に個々のスポーツ競技の歴史を学ぶだけでなく、政治問題や民族問題などとスポーツの関係をも考える。		
授業の内容・計画等	この授業は、つぎのような内容で行われる。 (1)古代オリンピックの歴史、(2)近代スポーツの成立、(3)クーベルタンと近代オリンピックの成立、(4)夏季オリンピック大会の歴史、(5)冬季オリンピック大会の歴史、(6)日本のオリンピック参加、(7)オリンピックと政治問題		
成績評価の方法	出席状況とレポートおよび試験によって評価する。		
テキスト・教材・ 参考書等	講義形式(講義中心: 板書: 講義のレジュメの有) 使用する視聴覚教材の種類(ビデオ・接写カメラ等) ビデオ使用の場合(本数=2; 1回の上映時間=60分) ビデオの文字情報(字幕・有) 教科書は使用せず、参考文献を適宜紹介する。		
履修上の注意・ 受講条件等	特になし。		
メッセージ	特になし。		

図1 シラバス例